



29 June 2022 通信 8号

【特別編】

FKC furano kotobuki college
富良野市ことぶき大学
富良野市教育委員会社会教育係
電話 0167-39-2318
文責：上用眞一郎

おかげさまで、ことぶき大学富良野校は開校50周年を迎えることができました。心よりお喜び申し上げます。

今日は3年振りの研修旅行です。皆さん、楽しみにしていたことと思います。体調はいかがですか。

バスの乗車時間が結構長いので、1時間ごとに15分きっかりと休憩時間をとります。一旦バスを降りて背伸びなどしながら、そして水分補給もしながら体調管理をしてください。

本日の研修についての説明をする前に、7月の日程についての確認とお願いがあります。ご協力ください。

1 次回の予定 について

次回7月6日(水曜日)の日程

- 9:00 当番(本科2・3・4年生)
除菌・教室の換気、クラブ準備
- 9:15 朝の集い…校歌・体操・諸連絡
- 9:50 クラブ準備・**クラブ学習⑤**
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 **「コーラス⑤」「踊り⑤」**
- 14:00 自主活動(スコップ三味線、他)
- 15:00 50周年準備委員会

7月7日(木曜日)

9時30分～フロアカーリング同好会

7月13日(水曜日)

10時00分～スコップ三味線同好会

2 **開校50周年** 記念誌の原稿のお願い

現在、開校50周年記念誌を作成中です。**本科1年生と本科2年生の皆さんからの原稿**をお願いします。

1 **内容について**

ことぶき大学に入学しての感想やこれからの要望など自由です。クラブ学習や同好会活動での様子などもOKです。

2 **時数について**

原稿用紙**1枚程度**をお願いします。

(原稿用紙をお渡しします。)

3 次回、7月6日(水) 厳守をお願いします。(1年川辺さんと金子さんにつきましては、ことぶき通信での寄稿文を利用します)



ことぶき大学 「研修旅行」

令和4年6月29日(水)

ウポポイへの旅

さあ！皆さん、今日は3年ぶりの研修旅行です。

4月の入学式から2ヶ月半がたちましたがここでちょっと一休みしましょうか……のんびりとバスの旅！！

バスは文化会館を出発、山部の生涯学習センターで第2研究生の伊賀さんと坂本さん、本科1年生の池田さんと磯江さんが乗車します。全員そろって「ウポポイへの旅」がスタートします。最初の休憩地点は占冠の道の駅です。トイレを済ませて乗車ください。

今回の研修旅行の目的は、勿論出会いと体験、そして学ぶということですが、学年を超えてのコミュニケーションの場でもあります。

楽しい旅行にするためにも次の4点を守ってください。

1 具合の悪いときは、我慢しないで事務局まで連絡ください。

(周りの方の気づきが大切です)

2 事務局の説明のときはおしゃべりをやめて聞いてください。

(説明はできるだけ短くします)

3 まだまだコロナ禍だということを忘れないでください。(マナー厳守!!)

4 富良野市ことぶき大学生ということを忘れずに行動してください。

人生のテーマ

出会いと感動 & 学びの継続

令和4年度研修旅行 の日程について

日 程 6月29日(水曜日)

集 合 7:10

文化会館発	7:15
生涯学習センター	7:30
占冠道の駅	8:15 (8:30 発)
道東自動車道 PA(キウス)	9:30 (9:45 発)
道央自動車道白老 IC	10:45
昼食会場 カント着	11:00 (11:45 発)
白老町森野 14-3	
ウポポイ着	12:00
国立アイヌ民族博物館	~13:20
伝統芸能上演	13:30 ~14:00
フリー	~15:00
ウポポイ発	15:00
(由仁 PA・占冠道の駅でトイレ休憩)	
生涯学習センター着	18:45
文化会館着 解散	19:00

・連絡先

①富良野市文化会館 0167-39-2318

②アイヌ民族文化財団(ウポポイ内)

059-0902 白老町若草町 2-3-2

TEL 0144-82-3914

③昼食 徳寿ファームレストラン KANTO

059-0911 白老町森野 14-3

TEL 0144-85-2323

④藤野係長の携帯 090-2691-6484

上用の携帯 090-2810-7385

広大なスペースで、総建設費200億円ということです。3時間の研修時間では勿論全部を回することは不可能ですので、自治会の役員の皆さんと打ち合わせをし、次の2つの施設を選びました。

まずは、「国立アイヌ民族博物館」です。下の図ですが、アイヌ民族の視点で語る「6つの



イコロ トウンブ 基本展示室



アイヌ民族の視点で語る「6つのテーマ展示」

常設の基本展示室は、「私たち」というアイヌ民族の視点で、ことば・文化・歴史について紹介します。アイヌ民族が居住してきた北海道、樺太・千島・東北地方に人類が住み始めた約3万年前から、2020年までととても長い時間が対象です。また、館内のサインや展示室の解説パネルは、各地のアイヌ語を受け継ぐ人たちが考え、書いたもので、音声ガイド(貸出)やアプリでそのアイヌ語を聞くこともできます。

※音声ガイドの貸出及び展示のタッチパネル操作は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用を停止しております。

私たちのことば

私たちの世界

私たちの暮らし

私たちの歴史

私たちのしごと

私たちの交流

常設の基本展示室は、「私たち」というアイヌ民族の視点で、ことば、文化、歴史について紹介します。アイヌ民族が居住してきた北海道、樺太、千島、東北地方に人類が住み始めた約3万年前から現在までと続く、とても長い時間が対象です。

テーマ展示」に分かれているそうです。

その視点とは、

- 1 「私たちのことば」、2 「私たちの世界」、3 「私たちの暮らし」、4 「私たちの歴史」
- 5 「私たちのしごと」、6 「私たちの交流」です。

私たちもどれか一つのテーマに絞ってもいいと思います。

次に予定しているのは、**体験交流ホールでの「伝統芸能上演」**です。

4ページでの地図にも掲載されていますが、上演時間が決まっています。13時30分からです。博物館での展示なども一時中断して全員で観ることになります。

この上演後、1時間のフリータイムをとります。その時間にお土産も買えますね。



ウエカリ チセ

体験交流ホール

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」やムックリ（口琴）・トンコリ（五弦琴）の楽器演奏など、アイヌの伝統芸能を上演。演目によって、来園者は演者と一緒に踊って楽しむこともできるそうです。

繰り返しになりますが、見る時間が限られますので、先ほどの6つのテーマ展示の他にも自分なりの視点で資料館等を回ることもいいかも知れません。例えば……

テーマ1 日本には、アイヌ民族、和人、琉球民族があるということですが……アイヌ民族と他の民族との係わりを知りたい…

テーマ2 アイヌ民族は歴史的に差別された時期がありましたが、なぜ差別を受けたのでしょうか…その理由を知りたい…

テーマ3 アイヌ民族は文字を持たない民族でしたが、会話はどのようにして現在に伝わっていったのだろうか…

テーマ4 総建設費200億円、建設までの経過や流れを知りたい…

テーマ5 「慰霊施設を知っていますか」…アイヌ民族のことを知るためには欠かせない施設がこの慰霊施設だということです。

……この慰霊施設について詳しく知りたい……

テーマを何か一つだけ決めて研修ができるといいですね。そして、それがこれからの学びのきっかけになることがこの研修の大きな目的です。

私はアイヌ民族の「話しことば」について興味があります。以前、ことぶき大学で源氏物語について学びましたが、平安時代に初めて書き言葉として「ひらがな」ができました。その「ひらがな」は中国からの漢字から生まれました。カタカナも同じです…「あ」は「安」から「ア」は「阿」からというように（話し言葉を単に漢字の音を当てはめただけなので意味はありません）……そう思うと、平安時代前の会話と書き言葉を持たないアイヌ語との共通点があるのではないだろうか！？言葉の根源とは何か！！そんな視点で資料を見ながら学びのきっかけづくりをしてみようと思っています。とても楽しみです……

さあ、久しぶりの研修旅行です。

今年は、ことぶき大学富良野校開校50周年の年、記念誌作成準備委員会も精力的に会議を持ちながら活動しています。クラブ学習、同好会活動も活発です。

今日は一息つきましょ。今回都合で来られなかった方もおります、各学年でもお土産話をしてあげてください。

思い出に残る研修にするためにも、ご協力をお願いします。出発です………